

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プリメーラ放課後等デイサービス野々上		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 19日		2026年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動するスペースと勉強するスペースが別れていること。	・サッカー療育はネットで区切り、3グループに分けて順次療育を行っている。 ・宿題や勉強をしているお子様のスペースを取りながら注意力が散漫にならないようにパーテーションなどで区切っている。	・手先の巧緻性を育む教材の充実をしている。 ・療育の質の更なる向上を目的として、お子様の要望に可能な限り応え、教材の選択肢を増やしている。
2	・LINEで気軽に相談できること。	・お子様の様子から気になったことなどを取り上げて一緒に考える時間を設けながら、対面での話に心がけている。	・保護者様の要望に応じて面談の時間を数回設ける。
3	・SNSなどを通して様子が見えること。	・お出かけサッカーや夏休みの工場見学など、活動の様子を写真や動画などに撮り、個人情報に準じて投稿している。	・可能な限りお子様からのリクエストに応じていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・サッカー療育を行うには少しスペースが狭い。	・室内で限界があるが、机などを移動させできるだけスペースを取るようし、お子様に対してきめ細やかな指示が通りやすくしている。	・近隣施設を借り、リズムトレーニングやお出かけサッカーを行っている。
2	・1日のスケジュールが少しわかりにくい。	・アプリのコメント欄を使いこなせておらず、ピンポイントだけを伝えていた。	・持ち物や流れの例を記載したしおり等の作成。 ・コメント欄に1日の利用者の流れを記載するようにする。
3	・親同士が気軽に話せる場がない。	お茶会や保護者様を交えた研修セミナーを検討していた所。	・お茶会や保護者様を交えた研修セミナーを検討中。

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	プリメーラ放課後等デイサービス野々上					公表日	2026年2月25日		
			利用児童数	32		回収数	28		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	7	0	3	サッカーをするには少しスペースが狭い。	少人数のグループでサッカー療育を行っている	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1	1	2			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	4	0	3	勉強と運動のスペースが別れていていい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	1	0	0			
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2	0	1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	2	0	1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	26	1	0	1			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	2	0	1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1	0	1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1	1	7			
保護者 への 説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	3	3	7			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1	0	1	持ち物・1日のスケジュールの例などのしおりがあるとわかりやすい。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	2	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	2	1	4	親同士気軽に話せる場所があるといい。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	2	0	1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	2	0	0			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	3	0	0			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	4	3	7			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2	1	3	LINEで気軽に相談できるため助かっている。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	3	0	3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	5	0	0	Instagramや事業所からの写真で様子が見えて嬉しい。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1	1	3	他利用者の情報を話されることがあり危険。アンケートも誰のものか分かる仕組みになっていることが疑問。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	2	0	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1	0	6		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	7		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	3	1	0	楽しく通っているが、テストがある日は嫌だと行くのを嫌がる。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	3	0	0		

事業所における自己評価結果

事業所名	プリメーラ放課後等デイサービス野々上	公表日	2026年 2月 25日
------	--------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	少人数のグループに分けてサッカー療育を行っている。コーチとサブコーチが入るようにしている。	サッカー療育中のフリースペースが狭く、個々の活動がしづらいつと感じる。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	専門的支援も設けている。	引き続き専門的支援を設ける。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	個々の得意とする認知特性に合わせた工夫をしている。(環境上の配慮)	個々の得意とする認知特性に合わせた工夫が必要。(環境上の配慮)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	子どもたちの要望に合わせて教材や玩具を取り揃えている。	引き続き子どもたちの要望に応じていく。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	面談室などを個別の部屋として使用できる。	子どもの気分や意志に任せている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	職員間の談話の中で個別支援会議として設けている。	引き続き行う。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	送迎時に連絡事項を伝えたり、LINEを使用したりしている。	保護者との信頼関係を築いていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ブリーフィングなどを設けている。	職員間の更なる連携を図る。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	各種関係機関の意見をもらっている。	引き続き調査をお願いする。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	様々な研修に参加し、職員の質の向上を目指している。	更なる知識を身につけていくようにする。
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	アプリを通してコメントしている。	公表や保護者への認知が不十分のため、改善していく。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	保護者と子どもと別々に行っている。	保護者と子どもの情報を共有していけるように働きかけていく。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	専門的な支援者との連携は、コミュニケーションを取りながら図っている。	引き続き、コミュニケーション能力を高めていく。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個々に観覧し、更に全員で支援に取り組んでいる。	更なる支援を強化していく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	専門員を中心として行動観察をし、共有する。	個々の特性に合わせて改善する時期を図る。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	移行支援、地域連携の部分は不十分。	移行支援、地域連携の部分は不十分のため、介入する。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	毎日の利用者に応じてプログラムを変えている。	支援内容に準じていく。

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	児童指導員、サッカーコーチ、理学療法士各々で連携し、プログラム構成ができています。	更なる構成を考えていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	療育の合間に好きな活動(制作など)やコグトレを取り入れている。	得意なものや好きな活動は子どものタイミングに任せている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	保護者の連絡、場合によってはAM・PM(フリーフィング)を行い連絡事項等共有している。	利用状況に応じて変更をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	当日気になったことなどを職員間で話し合い、場合によっては保護者にも伝える。	全利用者はできていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	当日の様子などで関わり方の振り返りをしている。	関わり方の振り返りと共に保護者に連絡をとるようにする。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	保護者と連絡を取り話し合っている。	保護者への理解も得るようにする。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6	0	子どもたちの要望に応じて、療育が行えている。	適宜、休憩を取り入れている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	状況によるが、個々が自主的に選択できる配慮はなされている。	子どもの気持ちに寄り添いながら任せていることがある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	定期的に他事業所と連携し支援会議を行えている。	気付いたことは連絡を取り合い共有していく。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	一部出来ている。	徐々に連携は図れていて、今後更に進展させる必要がある。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6	0	送迎の時に声をかけて様子を伺う等、情報の共有を行っている。	声かけを行うなど情報収集をしていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	一部できている。	あまり知らない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	経験がない。	経験がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	必要に応じてや、連絡事項研修案内等で情報を得て参加している。	分からないところなどは情報を得て職員間で共有する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	機会があれば参加していきたい。	経験がない。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	こども部会に毎月出席し、有機的な情報交換、他事業所職員の交流ができています。	情報の収集に伴い複数で参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	保護者と連携をとり、対面やLINE、療育支援システムなどで連絡を取り合っている。	引き続き連絡を取り合う。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	療育参観を利用日ごとに実施し保護者が体験できる場を設けた。	父母会などセミナーを検討中。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	お願いごとのお知らせ文を配布し、問い合わせがあれば対応している。	質疑応答は速やかに対応している。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者と子どもとは別々に意見や要望を聞いている。	保護者と子どもの情報を共有していけるように働きかけていく。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	個別の面談を通して対応している。	保護者からの要望や疑問点などがあれば支援内容に取り入れたり、丁寧に説明していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	様々な職種の職員が入り、多角的な視点での助言、支援が行えている。	助言や支援を充実させるため、更に各種関連機関や、職員間での話し合い、共有をしていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	2	参観日を実施、保護者同士の交流が見られた。	年に数回、そのような機会を設けていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情があった時は迅速な対応を心掛けている	苦情があった際の職員間での共有を徹底していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	HP、Instagram、通信を定期的に発行し、情報公開ができています。	個人情報に注意しながら引き続き継続する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報資料は原則持ち出し禁止にしている。	資料の管理を徹底していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	密な連絡をして要望にできるだけ応えている。	引き続き継続する。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	保護者参観や地域行事に参加できている。	計画する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	避難訓練などを実施している。	保護者への周知は不十分のため、避難訓練実施の際に周知を徹底していく。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	訓練はできている。	訓練は行っているがBCP策定は不十分。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	入所の面談で告知してもらっている。	対象の子どもがいる場合、提供する際の確認を徹底し、共有する。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	入所の面談で告知してもらっている。	対象の子どもがいる場合、提供する際の確認を徹底し、共有する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全な環境を整備し、複数の支援者の立ち位置などを考慮しながら支援している。	公園など、外出した際の子どもの約束事の徹底や、職員間での安全管理の連携を更に図っていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	ありのままの様子を伝え、適切なアドバイスをもらうなどして対応している。	子どもの成長に応じ対応できるように連携をとる。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	ヒヤリハット報告書に記録している。	日々のヒヤリハット報告及び共有は不十分。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止・身体拘束などの研修をして、事例などに基づいている。	研修内容や事例の情報を増やしていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	事例を予測し保護者に伝えている。	個別支援計画に記す。	